

交野市文化財調査概要

平成 5 年度

交野市埋蔵文化財発掘調査概要

1994. 3

交野市教育委員会

例　　言

1. 本書は交野市教育委員会が、平成5年度国庫補助事業として計画・実施した交野市内における埋蔵文化財発掘調査の概要報告書である。
2. 発掘調査は、交野市教育委員会が調査主体となって実施した。
3. 調査の実施、本書の作成及び遺物整理にあたっては、阿部誠、嶋澤聰、柏野勝重、中西貞子、林博美、諸氏の協力を得た。
4. 本書で使用したレベル高はすべて海拔絶対高で、方位は磁北方位である。また土色の色調は、「新版標準土色帳」(農林省農林水産技術会事務局発行) によった。

目 次

例 言

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況	1
第2章 発掘調査報告	1
第1節 ハセデ遺跡	1
第2節 交野郡衙跡	2
第3節 私部城跡	5
第4節 神宮寺遺跡	6
第5節 廃徳泉寺	6
第6節 森遺跡	7
第7節 大田神社遺跡	11
第8節 星の森遺跡	12

挿 図

第1図 ハセデ遺跡調査地位置図	1
第2図 ハセデ遺跡掘削位置図	1
第3図 交野郡衙跡調査地位置図	2
第4図 交野郡衙跡(1)掘削位置図	3
第5図 交野郡衙跡(2)掘削位置図	3
第6図 交野郡衙跡(3)掘削位置図	3
第7図 交野郡衙跡(4)掘削位置図	4
第8図 交野郡衙跡(5)掘削位置図	4
第9図 交野郡衙跡(6)掘削位置図	4
第10図 交野郡衙跡(7)掘削位置図	5
第11図 私部城跡調査地位置図	5
第12図 私部城跡掘削位置図	5
第13図 神宮寺遺跡調査地位置図	6
第14図 神宮寺遺跡掘削位置図	6
第15図 廃徳泉寺調査地位置図	6
第16図 廃徳泉寺掘削位置図	6
第17図 森遺跡調査地位置図	7

第18図 森遺跡(1)掘削位置図	8
第19図 森遺跡(2)掘削位置図	8
第20図 森遺跡(3)掘削位置図	9
第21図 森遺跡(4)掘削位置図	9
第22図 森遺跡(4)掘削トレンチ断面図	9
第23図 森遺跡(5)掘削位置図	10
第24図 森遺跡(6)掘削位置図	10
第25図 森遺跡(6)掘削トレンチ断面図	10
第26図 天田神社遺跡調査地位置図	11
第27図 天田神社遺跡(1)掘削位置図	11
第28図 天田神社遺跡(2)掘削位置図	12
第29図 星の森遺跡調査地位置図	12
第30図 星の森遺跡掘削位置図	12

第1章 埋蔵文化財発掘調査の状況

交野市教育委員会では、平成5年6月4日から平成6年2月18日に至る間、20件の補助事業にかかる発掘調査を実施した。

今年度、調査の対象となった遺跡は、ハセデ遺跡1ヶ所、交野郡衙跡7ヶ所、私部城跡1ヶ所、神宮寺遺跡1ヶ所、廃徳泉寺1ヶ所、森遺跡6ヶ所、天田神社遺跡2ヶ所、星の森遺跡1ヶ所である。

第2章 発掘調査報告

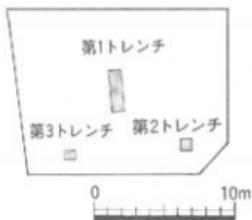
第1節 ハセデ遺跡

郡津5丁目1120-3

調査区の中央及び西側部分に3ヶ所のトレンチを設定する。第1トレンチは $3 \times 1m$ 、第2・3トレンチは $0.7 \times 0.7m$ を測る。建物の基礎が地表下0.3mまでとのことで調査はこの範囲内の深さにて止める。調査の結果、調査地東側の部分で地山が見えていたため、当初地表下0.2m程度で地山に到達するものと仮定していたが、第1・3トレンチ部分では地表下0.3mを過ぎても盛土であった。遺構は検出できなかったが、盛土内より土師器及び須恵器片を検出した。調査地東側に存在する丸山古墳に関連した遺跡が存在した事を確認できる有力な資料を得た。



第1図 ハセデ遺跡調査位置図



第2図 ハセデ遺跡掘削位置図

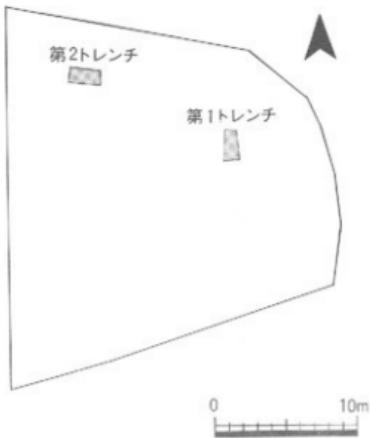
第2節 交野郡衙跡



第3図 交野郡衙跡調査地位置図

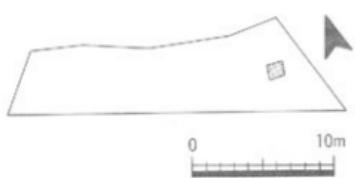
(1) 郡津3丁目1435

調査区の北側と中央東側部分に $2 \times 1\text{ m}$ のトレンチを 2ヶ所設定する。第1トレンチでは地表下 0.3 m で地山と推定される明黄褐色土層となる。しかしながらトレンチの南側部分で人為的な作用による層序が確認されたために、さらに地表下 1.1 m まで掘り下げたが遺構・遺物は確認できなかった。後の聞き取り調査で判明したことであるが、戦前において瓦を造る胎土としてこの明黄褐色土層を取り出して売却したことであった。



第4図 文野郡街跡(1)掘削位置図

(2) 猿野1丁目120-1



第5図 文野郡街跡(2)掘削位置図

(3) 郡津5丁目983-3



第6図 文野郡街跡(3)掘削位置図

第2トレーニングについては、全体的に地表下0.3mまで掘り下げ、一部を地表下0.8mまで掘り下げたが、全体的に擾乱層が存在し、盛土と推定された。

この点についても、先と同様の調査で、以前この場所には住宅が建っていたが室戸台風によって倒壊したことであった。

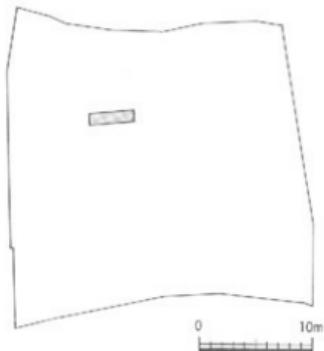
調査地東側中央部分に $1.2 \times 1.2\text{m}$ のトレーニングを1ヶ所設定する。地表下0.4mまで掘り下げるが、遺構・遺物は全く確認できなかった。現在の地形から判断して既に切土によって遺構部分が失われている様子であったが、その後の聞き取り調査で相当な盛土がなされていることが判明した。

調査地西側南部分に $1 \times 1\text{m}$ のトレーニングを2ヶ所設定し、両トレーニングとも地表下0.5mまで掘り下げたところ、郡津周辺に認められる明黄褐色粘土層の堆積を確認した。今回の調査は既存住宅の建替によるもので、以前の造成工事により地形が変化しているため、遺構・遺物は確認できなかった。

(4) 猿野3丁目1827-1及び1828-1

調査地の北西部分に1×4mのトレンチを1ヶ所設定し、地表下1.6mまで掘り下げる。地表下約1.1mのところで旧耕作面を確認できた。同調査地の部分は、かっての谷の部分に位置しており、この地域の地山である明黄褐色粘土層は、確認できなかった。

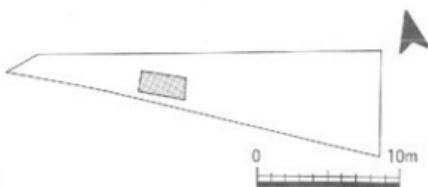
同調査地においては、遺構・遺物は確認できなかった。



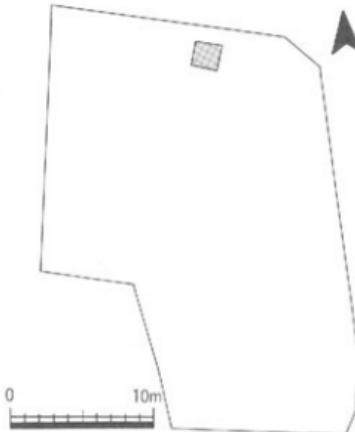
第7図 文野郡衙跡(4)掘削位置図

(5) 猿野3丁目2025-3

調査区の西側部分に1.5×3.5mのトレンチを1ヶ所設定する。地表下約0.7mまで掘り下げる。ガラス瓶、空き缶等が認められたことから、近年の搅乱層であることが分かる。遺構・遺物は確認できなかった。



第8図 文野郡衙跡(5)掘削位置図



第9図 文野郡衙跡(6)掘削位置図

(6) 郡津3丁目1430

調査区の北側中央部に1×2mのトレンチを1ヶ所設定し、地表下約0.5mまで掘り下げる。地表下約0.2mで第2層の明黄褐色のレキ混じりのシルト層となり、その下層に浅黄色の同じくレキ混じりの層が堆積していた。遺構・遺物は確認できなかった。

(7) 郡津3丁目1055-1

調査区中央部に $3 \times 1\text{m}$ のトレンチを2ヶ所設定する。第1トレンチは地表下0.4mで、第2トレンチは地表下0.2mで明黄褐色土の地山を確認できた。遺構は確認できず、遺物としては第1トレンチで土師器片を1片確認しただけであった。



第3節 私部城跡

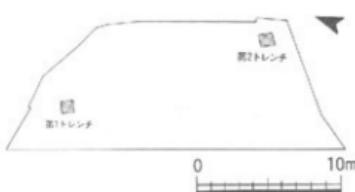
第10図 交野郡衙跡(7)掘削位置図

私部4丁目1661-1

調査区の南北部分に $1.5 \times 1.5\text{m}$ のトレンチを2ヶ所設定する。第1トレンチは地表下約1.5mまで、第2トレンチは地表下約1.3mまで掘り下げる。両トレンチとも0.6m以上の盛土が堆積していた。第2トレンチの第2層で瓦片、土師器片が出土した。



第11図 私部城跡調査地位置図



第12図 私部城跡掘削位置図

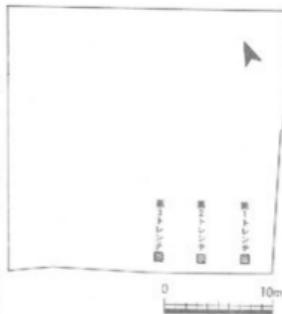
第4節 神宮寺遺跡

神宮寺1丁目270

調査区北側部分に $1\times 1\text{m}$ のトレンチを3ヶ所設定する。深さを3ヶ所とも地表下約1.2~1.3m掘り下げる。第1トレンチでは、瓦、陶器(擂鉢)、青磁器が出土したが、遺構は検出できなかった。第2トレンチでは、地表下約1m掘り下げたところで、黒色埋土の遺構を確認した。遺物は、瓦、青磁器が出土している。第3トレンチでは遺構・遺物とも確認できなかった。今回の工事が遺跡に支障がないことを確認して調査を終了した。



第13図 神宮寺遺跡調査地位置図



第14図 神宮寺遺跡掘削位置図

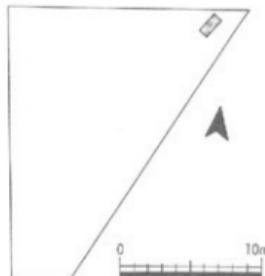
第5節 廃徳泉寺

寺4丁目828-1

調査区の北東部分に $2\times 1\text{m}$ のトレンチを設定する。地表下0.9mまで掘り下げるが、この遺跡周辺特有の花崗岩質の砂層が続くのみで、遺構及び遺物は確認できなかった。

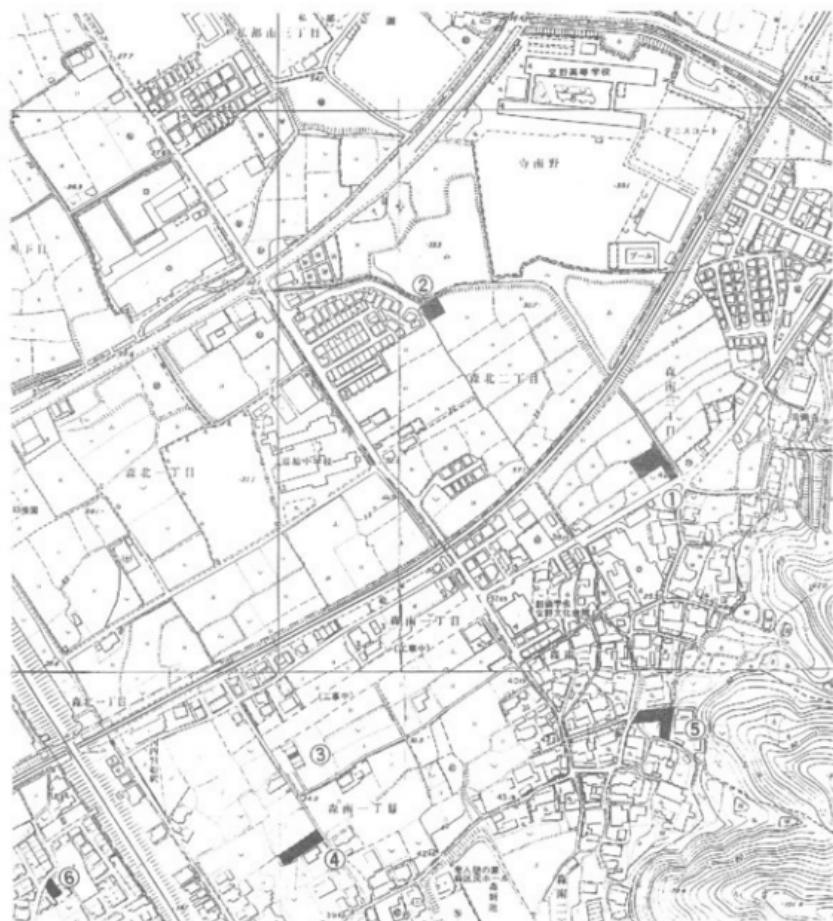


第15図 廃徳泉寺調査地位置図



第16図 廃徳泉寺掘削位置図

第6節 森遺跡

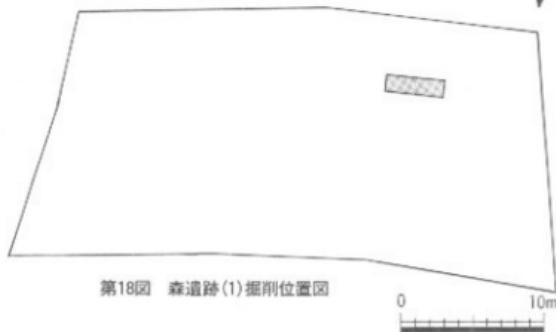


第17図 森遺跡調査地位置図

(1) 森南3丁目70

調査区中央部南側部分に $4 \times 1.2m$ のトレンチを設定する。地表下約0.2mにて旧耕作土の床上が確認された。トレンチの中央の第2層下で東西に灰黄褐色のレキ混じりの層と、遺物包含層である黒褐色のシルト層とに分かれる。これは上層にあった包含層が耕地造成の際に運搬されたものとみられ、かつてこの部分で耕地が上下に分かれていたと推定され

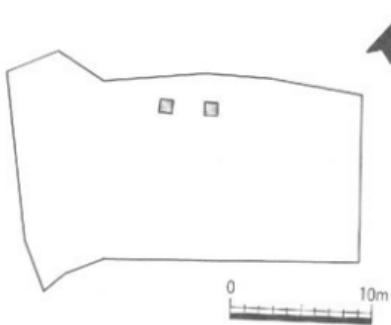
るが、年代は特定できなかった。地表下1.1mまで掘り下げたところで、弥生・古墳時代の遺構面である褐灰色シルト層が確認できた。遺構は検出できなかつたが、遺物は土師器・須恵器の破片が出土した。



(2) 森北2丁目43

調査区南側東西部分にそれぞれ $1 \times 1m$ のトレンチを2ヶ所設定する。両トレンチとも地表下約0.4mで旧耕作面が確認できた。さらに両トレンチとも地表下0.9mまで掘り下げたところで、地山と推定される明黄褐色土層が確認できた。同調査区は隣を流れる河川の

影響を受けているため、北側に存在する車塚古墳群で確認される黒褐色の包含層は全く確認できなかつた。遺構・遺物は確認できなかつた。



(3) 森南1丁目221-1,3及び222-3

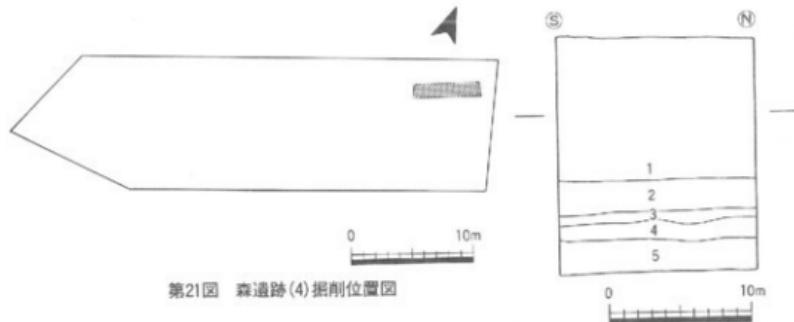
調査区の西側部分に1.8×2.8mのトレンチを設定し、地表下約0.3m掘り下げた後、南側半分をさらに地表下1.1mまで掘り下げる。地表下0.3mで旧耕作面が確認できた。また同じく地表下約1mで黒褐色の包含層の存在が確認でき、土師器片が出土した。遺構は地表下1mに存在するであろうことが確認できた。



第20図 森遺跡(3)掘削位置図

(4) 森南1丁目405-1

調査区の北東部分に1.4×5.5mのトレンチを設定し、地表下約1mまで掘り下げる。地表下約1mで、旧耕作面が確認できた。深さ約1.6mまで掘り下げると、古墳時代の地山面である褐灰色シルト層が確認できた。



第21図 森遺跡(4)掘削位置図

1. 表土
2. 10YR 2/1 黒色土 (旧耕作面)
3. 10YR 4/1 褐灰色砂質土
4. 7.5Y 5/1 灰色粘質土
+ 5Y 5/4 オリーブ色粘質土
5. 5Y 4/1 灰色シルト

第22図 森遺跡(4)掘削トレンチ断面図

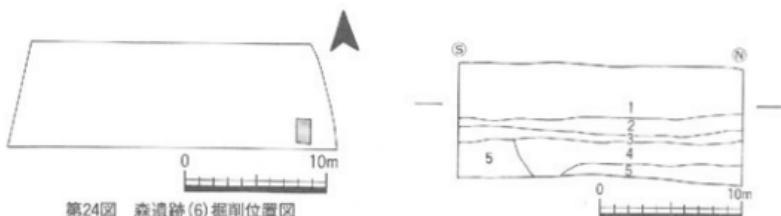
(5) 森南3丁目666及び667

調査区の東西部分にそれぞれ $1 \times 1\text{m}$ のトレンチを設定する。両トレンチとも地表下約0.5mまで掘り下げるが、遺構・遺物は確認できなかった。同調査地は斜面を削って作られており、第1トレンチは盛土、第2トレンチは地山であった。



(6) 私市2丁目1140-2

調査区の東側南部分に $2 \times 1\text{m}$ のトレンチを設定する。地表下約0.8mにて森遺跡全般で認められる弥生・古墳時代の遺構面である褐灰色シルト層が確認できた。遺構・遺物は確認できなかった。



- 1. 表土
- 2. 10YR 4/1褐灰色シルト
- 3. 10YR 6/4にぶい黄橙色粘質土
- 4. 10YR 6/6明黄褐色シルト
- 5. 10YR 5/1褐灰色シルト

第25図 森遺跡(6)掘削トレンチ断面図

第7節 天田神社遺跡



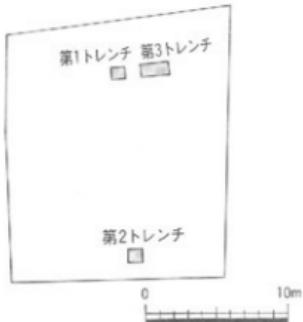
第26図 天田神社遺跡調査地位置図

(1) 私市1丁目52-2

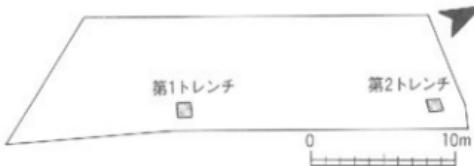
まず、調査地の北側部分に $1 \times 1\text{m}$ 、 $2 \times 1\text{m}$ のトレンチを2ヶ所、南側に $1 \times 1\text{m}$ のトレンチを1ヶ所設定。層序は3トレンチとも上から黒褐色シルト層、にぶい黄褐色シルト層、そして地表下約 0.6m で包含層である黒褐色シルト層の3層であった。第3トレンチで少量の古墳時代に属する遺物が確認できた。同遺跡に接する森遺跡と同様の層序関係を持つ。遺構は確認できなかった。

(2) 森南2丁目557-1,5及び559-1,2

調査区の北側及び南側の端に $1 \times 1\text{m}$ のトレンチを2ヶ所設定する。地表下 0.3m 程のところで地山と推定される固い層に当たる。そこで中止する。それから南端のトレンチを掘り始めるが同様の固い層を検出した。遺構・遺物は確認できなかった。地形から推定して、調査以前にすでに地山を削って平面にしたと思われる。



第27図 天田神社遺跡(1)掘削位置図



第28図 天田神社遺跡(2)掘削位置図

第8節 星の森遺跡

星田7丁目1942

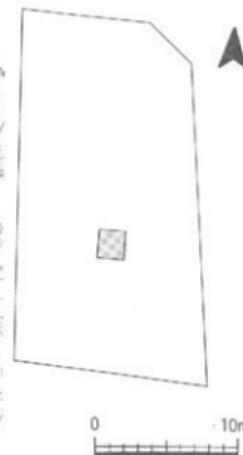
調査区中央やや南寄りに $2 \times 2\text{m}$ のトレンチを設定する。まず全体的に地表下 0.7m まで掘り下げる。耕作層の下層は、黄褐色系の少し粘質の砂層が続く。

その後、中央にさらに $1 \times 1\text{m}$ の区域を定め、地表下 1.5m まで掘り下げたところで、青灰色(河川跡)の砂層が堆積していた。

遺構及び遺物は確認できなかった。この調査地における堆積状況は、倉治の変電所の北側と全く同様で、もし遺構が存在するとしたら、かなり下位の部分に存在するようである。



第29図 星の森遺跡調査地位置図

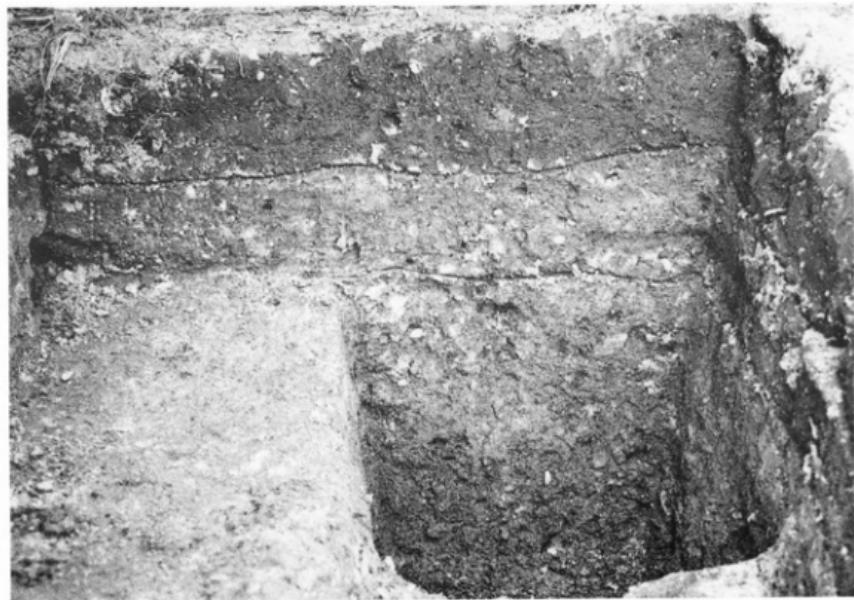


第30図 星の森遺跡掘削位置図

図 版



ハセデ遺跡第1トレンチ



交野郡衙跡(1)第2トレンチ



文野郡衛跡(?)第1トレンチ



神宮寺遺跡第1トレンチ



魔徳泉寺試掘トレンチ



森遺跡(5)第2トレンチ



森遺跡(6)試掘トレンチ



天田神社遺跡(1)第3トレンチ

平成5年度 交野市埋蔵文化財発掘調査概要

発行日 1994年3月30日

編集・発行 交野市教育委員会
大阪府交野市私部1丁目1番1号

印刷所 加地金画印刷株式会社

